

最賃待ちで ない賃上げを

—モチベーションアップが必要—



ひろしま

郵政産業労働者
ユニオン広島支部
(広島郵便局内)

前号の続き、25春闘です。私たちの要求と会社の回答は乖離が大きく、18日にストライキに突入、翌19日には第8回賃金交渉に臨み、会社に対し再検討を求めましたが、これまでの域を出ないものと判断し、交渉を終了しました。



郵政ユニオンは25春闘において、非正規社員の処遇改善につ

いては毎年10月の「最低賃金待ち」ではなく、4月の段階での時給引上げを強く求めてきました。

今春闘における他産業を含めた非正規雇用労働者の賃上げ回答の状況を見ると、平均賃上げ率がパートタイムで6.5%と過去最高となり、正社員の5.37%を大きく上回ったと報道されています。郵政のゼロ回答と大違いです。最低賃金引上げによって賃金改定を実施することは、郵政だけでなく他産業も同じです。

賃上げ以外では、正社員同様に人間ドック受診の際「その時間をみなし勤務とする」については評価できますが、「アソシエイト社員への社員持株会入会資格拡

大」については、この回答を聞いてモチベーションが上がった人がどれだけいるでしょうか? 「長期雇用のインセンティブ確保のため」とありますが、賃上げゼロでこの回答では、逆効果です。

中国地本春闘総括集会
4月13日(日)

前述にもあるように、今春闘では、人手不足が深刻な業界で積極的に時給を引き上げる傾向にあると報道されています。

全国的に要員不足の中、募集をかけてもなかなか人が集まらない、と会社も認めています。社会的貢献をかかげる企業として、またモチベーションアップのためにも、最低賃金待ちでない賃上げをきちんとすべきです。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう! 会社は組合事務室を貸与せよ!